

野草観察

仲間の花 勢揃い—10

キク科の花 60 種を数回に分けて紹介します。今回は 12 種 (No.151~162) です。

セイヨウタンポポ



カントウタンポポ



セイヨウタンポポ(帰化種)とカントウタンポポ(在来種)はよく似ていますが、花と包んでいる総苞の形状から見分けることができます。

セイヨウタンポポは総苞の外側の片が下向きに反り返っていますが、カントウタンポポのそれは花を抱えています。



セイヨウタンポポ



カントウタンポポ



ところで、タンポポ類は右上写真のように、咲いている花の時よりもタネの背丈が伸びているのに気づかれた方は多いと思います。セイヨウタンポポの一つの株からその経緯を推測してみました。最終ページでご確認ください。

なお、在来種のタンポポは、東北地方にはエゾタンポポ、関東地方はカントウタンポポ、関西地方から四国・九州にかけてはカンサイタンポポ、関東地方以西から四国・九州にはシロバナタンポポ (No.153)、そして高山地帯にはミヤマタンポポというように、全国各地にすみ分けています。

タンポポの花は朝開き、夕方に閉じます。日中の日差しの下では見事に咲いている花も、雨降るような暗い日には閉じています。一つ花は 2~3 日開閉を繰り返します。

シロバナタンポポ



ペラペラヨメナ



ヒメジョオン



ハルジオン



ヒメジョオンとハルジオンもよく似ています。見分けのポイント三つを紹介します。

ヒメジョオン

ハルジオン

- ① つぼみの向き : 下を向くことは少ない
- ② 葉のつき方 : 茎を抱かない
- ③ 根生葉の有無 : 花期には枯れてなくなる

- 下を向く
- 茎を抱く
- 花期にも残っている

その他、花期も少々異なっています。ヒメジョオン:6月～10月、ハルジオン:4月～7月。

ノゲシ



オニノゲシ



ノゲシの葉にはとげ状のものがついていますが、柔らかくて触っても痛くはありません。
オニノゲシの葉には鋭いトゲがあり、触ると痛いです。

キクイモ



イヌキクイモ



ホウキギク



アレチノギク



セイヨウタンポポ ～花径の不思議な動き～

花径の動きを点線で示しました。花径はつぼみから花が咲くまでは垂直に伸びますが、花の終わるころには横に倒れて；①、タネの成熟を待ちます。

タネが成熟するとまた立ち上がり②、タネを飛ばします。

この動きによって、茎が強風や通りがかりの動物などに折られたりするのを防ぐことができます。また、タネが熟して立ち上がった茎は、開花時よりも伸びていて、タネが風によって遠くまで飛ばされやすいようになります（参考：Aは13cm、Bは25cmでした）。

